
魔王の日記

冷凍野菜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔王の日記

【Nコード】

N5226Z

【作者名】

冷凍野菜

【あらすじ】

ある世界の魔王が「自分が何者なのかを考える」という建前と、「ただ単に暇だから」という本音のもとに日記を書き始めます。暇だけど世界征服とかは面倒臭いというやる気のない魔王のだらだらした日常をぐだぐだと綴っていくと思います。

小説を書いたりするのは初めてなので文章がつたない、1話が短い、更新が遅い、ていうかつまらない、などたくさんのご意見、ご感想を待たれると思います。

その際は感想やら何やらに「ここはこうしたほうがいい」などと書いてくださればうれしいです。今後の参考にさせていただきます。

初めの記憶

気が付くと、《私》はそこにいた。

もしかしたら、もつとずっと前から《私》はここにいたのかもしれないが、私が「ここに《私》がいる」ということに気が付いたのは、今さっきのことだ。

自分が何者かもわからないし、私が《私》と認識しているものが、どういったものなのかもわからなかった。

（《私》とは、何だ？）

「《私》とは、何だ？」

私が思ったことが、低く、よく透る声として聞こえた。

《私》には体があり、私の意思で動かせるようだ。

そこで私は、《私》の体を包んでいた黒い布をどけ、体を確認してみる。

中心に胴体があり、それに、短い毛の生えた頭が1つと腕と脚が2本ずつついていて、それぞれの腕と脚の先に指が5本ずつついている。

どうやら《私》の体は人間の腕と脚と指を少し長くしたような体であるらしい。

「ん？」

そこまで確認して、私は疑問を持った。

「人間ってなんだ？」

私はついさつき《私》という存在に気が付いたばかりだというのに、《私》の体について、人間の腕と脚と指を少し長くしたような体であると認識した。

人間など見たことも聞いたこともないはずなのに、なぜか人間というものが何なのかがわかる。

「いったい《私》は何なんだ……。

知らないはずのことが、元から知っていたように知識としてある。

これは一体……。」

そんなことを考えていると、部屋の奥から獣が唸るような声が聞こえた。

「そこに誰がいるのか？」

私が問いかけると唸り声が止み、代わりにひたひたという足音を立てながら、私の体の倍ほどもある大きな犬が現れた。

「クウーン……。」

その犬は私の目の前に座り込み、尻尾を振っている。
その大きな魔物の姿を見て、私は自分がどのような存在なのかを理解した。

「私は、魔王だ。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5226z/>

魔王の日記

2011年12月17日19時53分発行